

「Notes 連携と拡張性の高いシステムを構築できました。過去のアーカイブデータの移行もスムーズに行え、高速なメール検索が可能になり、業務改善が図れました。」

日本ペイント株式会社

経営管理部
情報システム統括

OA 環境運用チーム	部長	中馬 誠二様 (右二)
IT 推進チーム	マネージャー	姫野 豊和様 (右一)
IT 推進チーム	リーダー	人見 貴子様 (左二)
		深谷 弘樹様 (左一)



導入前の課題

- ・既存グループウェアのバージョンアップにより、以前のメールアーカイブソフトとの連携ができないため、アーカイブデータの連続性を持たせられなかった。
- ・アーカイブデータの検索に時間がかかり過ぎて、非効率な業務で時間をとられていました。

導入製品



導入後の効果

- ・既存グループウェアとの連携ができるので、過去のアーカイブデータの移行もスムーズに行え、完全メールアーカイブが実現しました。
- ・メールの高速検索ができ、直感的で分かりやすい操作画面のため、業務効率が向上しました。

■ 事業概要

創業130年以上にわたり
日本国内初の塗料メーカー

—日本ペイントの事業概要について

日本ペイントは、明治14年(1881年)に塗料メーカーとして創業しました。現在、日本ペイントグループ全体では、売上高構成比の9割以上が塗料事業です。おもに取り扱っている塗料は、「自動車用」、「工業用」、「汎用」、「船舶用」、「家庭用」などです。自動車用塗料の分野では、自動車の金属製のボディとFRP(繊維強化プラスチック)製やウレタン製のバンパーの色を合わせ、表面を同一に仕上げる塗料製造の技術で、業界内で高い評価を受けています。



販売は国内だけではなく、海外でも展開しています。実は、「日本ペイント」ブランドは、日本国内よりアジア各国の消費者に高く認知されています。例えば中国では、マンションを、内装を施工しない状態で販売することが多く、マンションの購入者が、内装に使う塗料を選択することができます。中国では、マンションの内装を「立邦塗料(中国名)」の塗料で施工することがステータスになっているほど、当社の製品が支持されています。

(図：本社ショールーム展示の塗装製品)

■ 導入の経緯

Notes との連携が不可のため、
新たなアーカイブシステムへ

—「MailBase」導入以前の状況

2011年、グループ経営を強化するため、国内グループ全体の情報システムの統一に取り組みました。その取り組みのひとつが「グループウェアの一本化」です。当時、日本ペイントで運用していたグループウェアは、Notes R6.5です。しかし、他社のグループウェアを使用、また、同じNotesでもバージョンが違うなど、各社各様の運用を行っていました。そこで、当社のNotesのバージョンをR6.5からR8.5にバージョンアップするタイミングで、国内グループ全体のグループウェアを一本化することにしました。しかし、このバージョンアップでは、従来運用していたアーカイブソフトが利用できないという問題がありました。新製品のソフトを勧められましたが、以前のアーカイブデータを引き継ぐことができないと説明されました。メールのアーカイブデータに連続性を持たせられないのは致命的です。過去のアーカイブデータを扱うために、旧環境を中途半端に保持しておくだけでも、無駄なコストが発生してしまいます。従来運用していたアーカイブシステムにおいて、運用面で改善したい点もありましたので、これを機に、他社のメールアーカイブソフトを導入し、新たなアーカイブシステムの構築を検討することにしました。



「運用面で改善したい点もあり、新たなアーカイブシステムの構築を検討することにしました。」

—運用面で改善したかったこと

メール検索に時間がかかり過ぎていたことです。ある社員について、一年間の期間において、1つのドメインへの送受信メールを、アーカイブデータから取り出す作業がありました。以前のアーカイブソフトでは、これだけの作業で、結局2週間ほどかかってしまいました。理由は、検索結果が表示されるまでに数十分ほどの時間がかかっていたからです。さらに、検索結果が上限で255件まで表示されず、上限を超えるとエラー表示のみが返され、再度、検索期間をせめてやり直さなければいけませんでした。非効率な業務で時間をとられていました。

User Profile



日本ペイント株式会社
http://www.nipponpaint.co.jp/
本社：〒531-8511
大阪府大阪市北区大淀北 2-1-2
TEL：06-6458-1111
創業：明治14年3月
代表取締役社長：酒井 健二
連結従業員数：5888名(平成25年3月末)

■ 選定理由

Notes 連携可能、高い拡張性、高速検索、高いコストメリット

一「MailBase」選定の際の要件

「2011年11月から各社の製品カタログを取り寄せ、比較検討を始め、最終的に「MailBase」を採用しました。

Notes との連携は必須として、要件はつぎの3点です。

①システムの拡張性

「MailBase」では、必要最低限のシステムで初期導入が可能です。当社では、「マルチサーバオプション」も導入しました。以降、運用に合わせて、何台サーバを追加してもサーバのハードウェア費用のみで、システムを拡張することが



できます。導入時点で、アーカイブサーバの最大容量を想定する必要がなく、無駄なコストが発生するリスクがありません。このメリットは大きく、非常に拡張性に配慮されたソフト、システムになっています。

②高速なメール検索

「MailBase」は高速なメール検索が可能です。標準機能で、メールの添付ファイル内のテキストも検索可能なので、とても便利です。実は以前のアーカイブシステムでは、添付ファイルのファイル名のみを検索対象としていました。ファイル内のテキストまで検索対象にしまうと、データ容量が大きくなり、結果、さらに検索スピードが遅くなる恐れがあったからです。

③コストメリット

当初、候補にあげた製品は、Notes との連携で定評のある大手ベンダーの製品でした。当社が求めている機能はじゅうぶんにありましたが、MailBase と比較した場合、コストメリットが低いと判断し、候補から外しました。「MailBase」のソフト、ハードウェア、システム構築費用を含めた総費用と比べた場合、その製品はライセンス料だけでもおよそ2倍。導入にかかる総費用では、概算で3倍以上の開きになっていたと思います。

検討を重ねたうえ、2012年の8月、サイバーソリューションズの「MailBase」を採用することを決めました。

■ 導入の状況

仮想化環境のサポートで、構築がスムーズに行えました

一システム導入までの流れを教えてください

- 2012/8 : MailBase の導入を決定
- 2012/9 : MailBase 導入
- 2012/9 ~ 12 : アーカイブシステム構築
- 2012/12 ~ 2013/2 : アーカイブデータの移行
- 2013/2 : MailBase 稼働

※記載事項は予告なしに変更となる場合があります。

2012年8月に「MailBase」の導入を決定、翌9月に導入し、アーカイブシステムの構築を開始しました。導入の際、仮想化の環境をサポートしていることで、システムの構築がスムーズに行えました。構築途中で、システムバックアップを取りながら、トライ＆エラーができたからです。今でこそ、仮想化を想定した製品も多くなっていますが、稼働はしても、実際はサポート外というところが多いのが実情です。

さらに、「MailBase」はソフトの作りがシンプルな構成になっているので、わからないこともサポートに問い合わせるだけで解決できました。安心してシステムを構築できました。

一アーカイブデータの移行についてはどうでしたか
アーカイブデータの移行についても、問題なく実施できました。ただ、当初は2013年の1月末には全データの移行を完了する予定でしたが、一か月遅れの2月末までずれ込んでしまいました。



Notes のジャーナルサーバのデータを変換する際、中国語のテキストが文字化けすることが判明したからです。判明したのが12月末、すぐにサイバーソリューションズに連絡し、対応をお願いしました。結果、一か月も待たずに当社専用の修正モジュールを作成してくれました。これはとてもスピーディーな対応です。

このような修正は、大手ベンダーであれば、数か月から半年待たされるということもありますから。出来るかぎり、迅速に対応してくれました。

■ 導入の効果

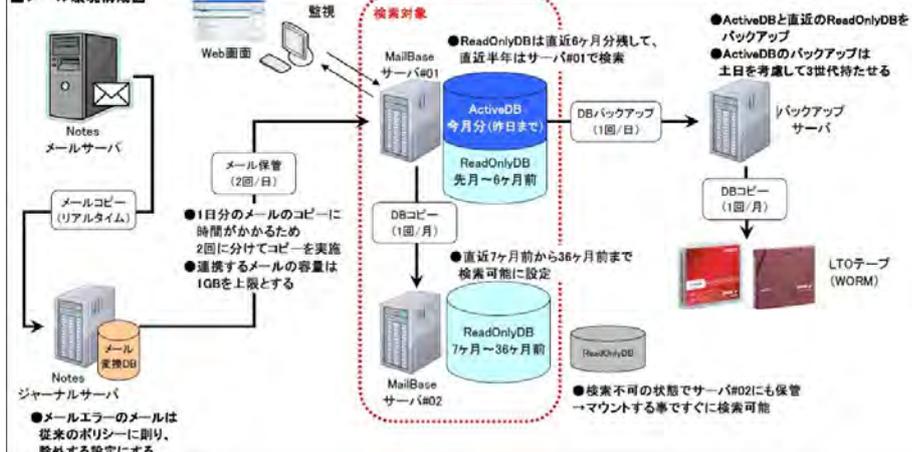
高速なメール検索が可能になり、業務効率化の向上が実現

一利用状況をお聞かせください

日本ペイントグループでは、内部統制・コンプライアンスの観点から、「MailBase」を導入し、メールアーカイブデータの保持、管理者によるメール監査を行っています。

現在、グループ内の情報共有のため、グループウェア「Lotus Notes R8.5」を導入し、運用しています。国内グループのユーザーは約3700名分のメールを、Notes メールサーバからリアルタイムでNotes のジャーナルサーバへコピー、さらに「MailBase」サーバへコピーしてアーカイブを行っています。

■ メール環境構成図



※記載されている会社名、商品名は、各社の商標または登録商標です。

一感じたメリットをお聞かせください

メール検索が高速化したことです。現状、導入後のテストと、実務としては数回の使用ですが、以前の製品のときは比べられないほど高速化しました。操作画面も直観的でわかりやすいため、マニュアルを見ないで操作をしましたが、迷わずに操作することができました。

副次的な効果としては、サーバールームの省スペース化を実現できました。以前のアーカイブシステムでは、バックアップにDVD-Rのディスクを使用していて、DVD-Rはほぼ1ラックを占めている状態でした。今回「MailBase」を導入したことで、LTOのテープでのバックアップが可能になり、DVD-Rのラックが不要になりました。空いたスペースを有効活用することができます。



■ 将来の展望

利用価値の高いメール検索機能を一般ユーザへの公開を検討

一今後のシステム運用

現在、「MailBase」でのメール検索機能は、システム管理者だけが利用する設定にしています。メール検索機能の一般ユーザへの公開はまだ行っていませんが、一般ユーザにも利用価値の高い機能ですので、将来公開することも考えて、操作画面のカスタマイズを進めています。いつ、メール検索機能の一般ユーザへの公開が決定しても、対応できるように準備している段階です。

一サイバーソリューションズへの期待する事があればお聞かせください。

サイバーソリューションズは、いい意味で小回りの利く会社だと思います。今回の修正モジュールの対応など、大手にはない機動性の高さは、パートナーとして非常にメリットを感じています。他社の運用状況の情報やアドバイスといった協力を期待しています。

一本日はお忙しいところ、誠にありがとうございました。